

デイサービスセンターゆうわ苑事業報告

ここ数年旧市内におきまして、複数の新規通所介護事業所の開設で、通所介護事業所が飽和状態となり新規ご利用者獲得が苦戦すると予測される中、平成 28 年度計画数 4,650 名、稼働率 83.6%、の目標に向いスタートを切りました。

新規通所介護事業所の多くは、都心部での成功例を取り入れた機能訓練に特化した通所介護事業所や、通称「お泊りデイ」なる宿泊可能な通所介護事業所であり、旧来型の通所介護事業所が敬遠され苦戦を強いられています。「苑の存続の危機」と言う危機感を持ち利用者様の増員を図る為、「ゆうわ苑でも出来る事」を職員間で知恵を絞り、口腔機能向上の為に食前の口腔体操の実施や、機能低下予防の為にレクリエーション前の機能低下予防体操を取り入れ、希望者には機能訓練指導員を中心に3mの歩行バーを用いた歩行機能向上のご支援の取り組みを継続し好評を得ています。また、平成 27 年 4 月の介護保険改正より新たに加算要件となった、中重度加算・認知症加算を取得し、平成 28 年 4 月より地域密着型通所介護へ移行する事により、基本料金が 12%増額出来た為、売上は前年度を下回る事は有りませんでした。稼働率の落ち込みにより、平成 28 年度目標 4,650 名に対して実績数 4,242 名、達成率 91.2%と目標を達成する事は出来ませんでした。

平成 29 年度も、稼働率低迷により苦しい運営が予測されます。飽和状態である通所介護事業所同士の利用者獲得競争や、お泊りデイやショートステイと通所介護事業所とを併用される利用者様の増加影響を考えますと、安定した稼働率の維持は難しく、なお一層の売上獲得の方策が必要と考えます。さらには、平成 30 年の介護報酬の改定では更なる切り下げが予測され苦しい状況が予見されています。

ゆうわ苑は、開所より 28 年目となり設備の老朽化も顕著です。お客様のニーズに合ったサービスの提供や施設の改修・補修が必要であると思われます。今後も職員一同危機感を持ち、コンプライアンスを重視し、ご利用者様・ご家族様・介護支援専門員様より選ばれる施設となる様、ご利用者様確保に努めてまいります。